

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2017 年	9 月	22 日	記入者	小倉つき子
調査者名	岡村	小倉	久門	鈴木	橋詰

調査対象先	極楽寺(真言宗豊山派)						
所在地	奈良市別所町525	電話番号					
代表者 調査対応者	調査対応は元檀家総代・奥田嘉男さん 住職は奈良市水間町の西岸寺住職が兼務						
対象文化財	彫刻	県指定:	3 件	国宝:	件	重文:	件
	建造物	県指定:	件 棟	国宝:	件 棟	重文:	件 棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済	<input checked="" type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	昭和の末、茅葺の本堂を建て替え礼堂にし、本堂後方に土蔵の収蔵庫を増築。庫内に県指定の阿弥陀如来坐像、不動明王立像、地藏菩薩立像を安置。屋根は軽量化したが、耐震構造ではない。	
	今後の予定	寺は明治時代に無住に。住民も高齢化し、檀家が25軒になり、今後いかに仏像を守っていくかが課題。県指定の三体の仏像は奈良国立博物館へ寄託することも考えている。	
	要望	建て替え費用として、県から3分の1の補助はあったが、残りは地元民の寄付を集めた。今後の修復の際、県や企業からの補助が必要。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()	
	今後の予定		
	要望		

防火対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済	<input checked="" type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	近所でたき火をしない決まりがある。警察(駐在所)が定期的に巡回し、防犯対策は本堂から収蔵庫に入る扉を開けると鳴り響くサイレンを設置。扉も金庫専用の頑丈で気密性のよいものを使用。	
	今後の予定	火災報知器や避雷針の設置を検討していきたい。	
	要望	特になし。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()	
	今後の予定		
	要望		

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先

極楽寺(真言宗豊山派)

獣害・白アリ等の対策

① 獣害等被害	<input type="radio"/> A: 経験あり	<input checked="" type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	
③ 今後	今後の予定、要望	アライグマはいるが、民家に被害があり捕獲している。お寺には食べ物が無いせいか獣害はない。シロアリ対策も特になし。

収蔵庫に安置されている三体の県指定の仏像



収蔵庫外観。屋根の壁が一部はがれている

安産祈願の禰をかけた地蔵菩薩立像と奥田嘉男さん



仏像保存のため収蔵庫ではなく、本堂で法要



本堂外観。後方に仏像保存の収蔵庫がある



【調査票記入者(小倉つき子)の感想】



無住寺となり、県指定の仏像3体を収蔵庫に安置し、檀家たちで守ってきたが、高齢化が進んでいる。いずれ奈良国立博物館に寄託を考えているとのことで、安全な所での保管が望ましい。